

腎臓内科

(スタッフ)

部長：縄田 智子

嘱託医：鈴木 美穂 (2017. 4月から)

後期研修医：鈴木 美穂 (2017. 3月まで)

腎臓内科は、平成 28 年 7 月に腎臓・膠原病内科が膠原病・リウマチ内科と腎臓内科へ分かれる形で設置され、現在スタッフ 2 名で診療にあたっております。

研修医については、膠原病・リウマチ内科との合同での研修としております。便宜上平成 29 年度について述べますが、以下のとおり大変多くの先生方に研修いただきました。1 年目研修医として井上雅崇先生 (4-5 月)、池邊朱音先生 (6-7 月)、山田祐莉子先生 (8-9 月)、大森幸恵先生 (10-11 月)、川原早百合先生 (12-1 月)、守田未来先生 (10-1 月)。2 年目研修医として木村裕香先生 (4-5 月)、半澤誠人先生 (5 月)、杉町和紀先生 (6-7 月、3 月)、堂崎良太先生 (6-8 月)、中野光司先生 (8-9 月)、膳所大亮先生 (9-10 月)、財前拓人先生 (10 月後半-11 月)、上杉聡平先生 (11-12 月)、錦戸慎平先生 (2-3 月)、坂田真紀先生 (2 月後半-3 月)、仲摩恵美先生 (3 月)。

(診療実績)

腎臓内科としては腎疾患部門として外来と入院を、また透析室業務を担当しております。また実際の診療においては、膠原病・リウマチ内科との合同で病棟回診、透析業務、カンファレンス、急患対応を行っております。

透析室での診療については別稿 (P.74) で述べます。

外来は、平成 28 年 7 月より外来棟 2 階泌尿器科外来において、(火) (木) のみ腎臓内科として使用させて頂いております。新患・再来併せて一日あたり 20 ~ 30 人の受診があり、慢性腎臓病 (CKD)、IgA 腎症、ネフローゼ症候群などの診療を行っております。CKD に関しては、かかりつけ医の先生方との病診連携により、腎疾患としての専門的評価、薬剤調整ならびに管理栄養士による栄養指導を積極的にすすめております。また、内分泌・代謝内科との連携により糖尿病性腎症の管理、耳鼻咽喉科との連携により IgA 腎症の扁桃摘出術+ステロイド療法にも取り組んでおります。

入院は、腎生検、ネフローゼ症候群に対するステロイド療法、血液透析導入、急性腎障害の治療、CKD 評価教育、などを行っております。

(今後の方向性)

腎臓内科としては 2 人体制ですが、実際の診療は膠原病・リウマチ内科との合同で行っております。今後も院内の各診療科との密な連携を図り、より質の高い診療を目指していきたいと考えます。

また、腎疾患診療においては開業の先生方との病診連携が不可欠と考えております。病診連携をより強化して、大分県の新規透析導入の減少、腎疾患患者の QOL 向上を目指し努力してまいります。

(文責：縄田智子)

【腎臓内科入院患者内訳】

平成 29 年 1 月～12 月

・慢性腎不全 / 慢性腎臓病	71 件
・ネフローゼ症候群	25 件
・IgA 腎症	4 件
・顕微鏡的多発血管炎	5 件
・その他の糸球体疾患	12 件
・腎尿細管間質疾患	2 件
・高血圧性腎疾患	1 件
・急性腎障害	3 件
・その他	15 件

【エコーガイド下腎生検】

平成 28 年 1 月～12 月 23 件

【血液透析導入】

平成 28 年 1 月～12 月 53 件